

見える化君のバグ修正、2009～2010 年度標準値データの追加、他

2012 年 3 月 1 日

【修正点】

- 1) 「クロス集計」の一部での結果が表示されないバグの修正
集計の横列に「使用目的」を選択すると、「末梢血管確保」の項目値が表示されない、等のバグの修正。
- 2) 「標準値と比較」で HCV 陽性率の計算方法を変更。感染症曝露率（5 検査）を追加。
- 3) 「標準値と比較」に、エピネット日本版サーベイ 2011（JES2011）の結果から算出した 2009 年度と 2010 年度の標準値を追加。
- 4) 「標準値と比較」の「エクセルに保存」出力の内容をより詳細にした。

【修正対象バージョン】

2012 年 2 月 29 日迄にダウンロードされた EpisysA 分析ツールで、メニュー画面の右上のバージョン記号が「Ver.2011-3」以前のもの。

【修正版】

現在、この修正版ができています。修正版のバージョン記号は「Ver.2012-1」となっています。

【修正版のダウンロード】

EpisysA&B201 の利用登録がお済みの場合の再ダウンロード先

→ http://www.episys.jrigoicp.org/v201/episys201_dl_retry.asp

から修正版を取得してください。

（この修正版は EpisysA&B と見える化君の一括ダウンロードに含まれています）